

## 企業概要

- 主な事業は、5台積みキャリアカー(車両運搬車)の製造・販売・メンテナンス
- アクセルとブレーキ踏み間違い防止のためのSTOPペダルや、車椅子の容易な乗降を安価で実現する福祉車両(車いすローダー)の開発・製造・販売

企業情報	
企業名	株式会社 長野車体
代表者	鴨下直哉氏
設立年	2016年
資本金	1,000万円
従業員	N/A
本社所在地	長野県佐久市常田417
事業概要	車体製造・販売・メンテナンス
電話番号	0267-68-0330

## SDGs達成を通じた取組

### 【経緯・背景等】

空港から自動車に乗り換える車椅子利用者からの声を聞いたことをきっかけに、同社代表者が福祉車両が新車・中古車ともいまだに高額である現状を知る。高齢者ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる死亡事故も社会問題となる中で、高齢化社会が進行する現状下、「自動車装備品」開発を手掛ける自社の技術が貢献できる領域なのではと考える取組を開始。

### 【具体的な取組、製品・サービス】

- アクセルを強く踏み込むとブレーキになるSTOPペダルを開発。
- 取り付け型のリフトアップ式の車椅子乗降装置を開発。

### 【取り組んだ成果・効果】

- 車椅子乗降装置はスロープ式・リフトアップ式の2種類があり、リフトアップ式のほうが便利とはいえ高額という難点があった。(スロープ式は人力の場合介護者にとって重労働、電動の場合もウィンチ脱着が煩雑。加えてスロープの引き出し/収納が煩雑で重労働、かつ雨や雪の場合に滑りやすく危険。) 同社が保有する自動車装備品開発技術が、スロープ式よりは高価だが比較的安価で安全な商品提供を可能にし、車椅子利用者・介護者の負担軽減を通じた社会課題の解決、並びに同社にとって新規事業領域の開拓につながった。

【貴社にとってのSDGsと、その展望】まずは、企業としての基本である「自社」「顧客」「社会」の“三方良し”の原則の、特に2020年は「社会」にフォーカスし、SDGs「8」「10」「11」の充実を、新商品開発と並行して推進。地域の養護学校卒業の子や、中学まで不登校だった子を雇用。各々「仕事が楽しい」というフィードバックを貰っている。先輩従業員の指導と人格を自負しています。これを機に、更に児童養護施設やフリースクールの子を積極的に採用したり、独り立ちできるような職業訓練校のようなものを自社内で創設するビジョンを描いています。



ストップペダル  
(同社資料より)



福祉車両(車いすローダー)  
(同社資料より)